

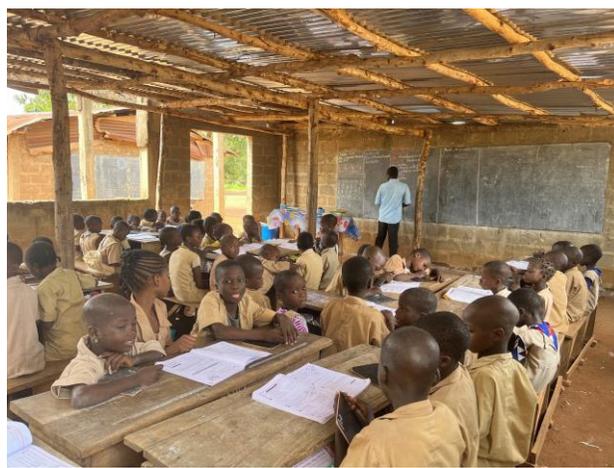
# LAKPAKPO



Bonjour! 150周年式典とても素晴らしかったです。感動して涙が止まらず、何度も何度も観ました。大好きな古知野南小学校の皆さんの成長を感じ、嬉しく思うとともに「私ももっとがんばろう!」という気持ちになりました。ありがとう。  
さて、早いものでもう12月ですね。私が小学校をお休みしてから8ヶ月が経ちました。初めてのことにチャレンジするのは勇気が必要だし、大変なこともありました。振り返ってみるととても充実した一年でした。皆さんはどんな一年でしたか? 2024年も皆さんが素敵な日々を送れることをベナンから願っています!

## どんな活動をしているの?

私のベナンでの目標は「ベナンの先生たちと協力して算数の授業を改善し、ベナンの子どもたちの学力を上げること」です。これは私が日本へ帰国してからも続けてもらう必要があります。そのためには、まず「ベナンの学校と授業について勉強すること」「先生たちとの仲を深める」ことが大切です。よって、今はいろんな学校のいろんなクラスの授業を観て回り、授業後は先生にお礼と授業の良かった点などを伝えています。1月からは私も授業や先生たちの研修を行います。今からドキドキ!ワクワク!



### ○ベナンの小学校の好きなところ

- ・あいさつがいつも全力  
クラス全体や校内ですれ違った時のあいさつがどの子どもも大きくてびっくり!
- ・挙手に全力  
高学年の子どもたちも「先生!私を当てて!」と言いながら全力で挙手!

- ・すぐ仲直り  
喧嘩をしても引きずることなく、自分たちですぐ仲直り♪

### ○日本にはない問題

- ・物が足りない  
教科書は数人に1冊でプリントやドリルもありません。教材が足りないため、理科・体育・図工・家庭科などの授業ができない学校がとても多いです。

- ・言葉の壁  
日本では学校でも家でも「日本語」を使います。しかしベナンでは学校では「フランス語」、家ではナゴ語・フォン語・ヨルバ語などの「現地語」を使います。これは皆さんが学校の授業を全て英語で受けているようなもの。そのため、授業の内容を理解することが難しく、高学年でも簡単な足し算や九九が苦手な子がたくさんいます。



135人のクラス(3年生)



教科書はみんなで使う(算数)

難しいフランス語を一生懸命がんばっているベナンの子どもたちや、外国人の私にも優しく接してくれる先生たちから毎日たくさんパワーをもらっています。大好きなベナンに何か恩返しができるように、自分にできることを見つけてがんばります!